

序文	2
はしがき	3
第1講 労働者政治運動の発展	6
1 労働階級の政治運動と労働階級の政党	6
2 ブルジョア民主主義の運動と労働者	8
3 経済行動から政治行動への前進	10
4 労働階級じしんの政治運動への発展	13
5 階級組織としての労働組合と政党	16
6 階級とその「前衛」	17
第2講 労働組合と社会主義政党	21
1 政党と組合との組織的特質	21
2 労働生活を改善するための闘争と、労働階級の究極目標のための闘争	24
3 政党の行動と組合の行動	26
4 社会主義政党の階級性	29
第3講 社会主義革命と社会主義政党	33
1 革命とはどういうことか	33
2 社会主義社会の実現の過程としての社会主義革命	35
3 社会主義革命の第2の段階	37
4 社会党内閣の成立と社会主義（政治）革命	39
5 社会主義政権の確立——それはどういう状態のことか——	41

第4講 社会主義革命の諸問題	48
1 政権の獲得と政権の維持	48
2 暴力革命と平和革命	50
3 平和革命の絶対的な条件としての民主主義と労働階級	53
4 社会主義政党が政権をにぎるためと、政権をにぎったあとの議会制度	54
5 社会主義政党が政権をにぎったなら	56
6 民主主義の発展した形態——国民大衆の組織化	61
7 中間段階の政府としての社会党内閣	64
8 社会主義政党の変質	67
第5講 社会主義政党の綱領	71
1 社会主義政党の綱領とはどういうものか	71
2 原則綱領と行動綱領——戦略と戦術	74
3 社会主義政党の綱領と資本主義政党の綱領	79
4 原則的な綱領はいらないか ——原則綱領のない社会主義政党という観念はなにを意味するか——	84
5 綱領と党の成長	88
第6講 社会主義政党の組織	91
1 社会主義政党はどういう組織をもつべきか	91
2 党内デモクラシー	93
3 強力な中央指導力と行動単位としての末端組織	96